

複式授業におけるICTの活用

～複式授業の課題解決に向けての追求～

猿払村複式教育研究部会

1. 活動方針・活動内容について

昨年度の流れをくみ、今年度、猿払村ではGIGA スクール構想のもと、本格的に始まったICT 活用について、村内複式校児童の交流、学力向上に向けた複式授業での効果的なICTの活用、の2点に活動方針を絞って実践を進めることとした。

具体的な活動内容は以下の3点である。

- 1) Google Classroom を活用した各複式校の学級別交流
- 2) ICT を活用した個別最適な学びに向けた授業改善
- 3) 猿払村教育研究大会との連携

2. 複式授業におけるICTの活用

1) Google Classroom を活用した各複式校の学級別交流

同学年児童同士の交流の幅を広げるため、Classroom を活用して、低中高学年それぞれの学級で定期的に交流を図った。図工や自由研究などの作品の写真をアップし、コメントを入れ、お互いにやり取りをした。また、Classroom 内の Meet 機能を使って、生活科や国語科の授業で、オンラインビデオ通話でお互いに自己紹介や学校紹介をし、普段はできづらいグループ学習を行うなど、学校間のつながりを深める活動となった。

2) ICT を活用した個別最適な学びに向けた授業改善

学習課題を Classroom の課題としてアップし、児童が考えをマークアップで書き、学級で共有したり、調べ学習を keynote を使用してまとめを行ったり、各校で児童の実態に合わせた効果的な学習を実践した。また、各校の実践を複式部会において、交流することができた。

3. 令和3年度猿払村教育研究大会

昨年度の研究大会は、感染症予防で中止となった。今年度の研究大会は、緊急事態宣言明けとなったが、教職員の資質向上、研究活動保障のため、2 年連続の中止とならぬよう開催に向けて検討を進めた。しかし、村内全教職員が一堂に会しての開催は困難と判断し、今年度研究大会はオンラインで開催とすることとした。

研究主題「自ら学び、考え、表現できる子供の育成」を図る複式指導を観てもらうため、授業は全学年の算数科を公開することとした。8月末に大会コンセプト、9月に大会開催に向けた計画を示しながら、教職員との意思疎通を大切に、準備を進めた。Google meet による授業配信では、村教委、各校の村研代表に協力いただき、公開することが出来た。

村内各校では、各学校の実態や教職員のニーズに合わせて、教室に集まりモニターで視聴したり、個人ごとに iPad で視聴したりした。授業後には、授業者の振り返り、指導主事をはじめ、各助言者からの講評とアドバイスを配信した。実施後の参加者アンケートでは、激励の言葉が多く寄せられ、一方、①複式授業にカメラが一台だと、間接指導をしている様子が分からない、②集音マイクをつけても、教師の発言や子供達の様子が伝わりづらいといった反省が寄せられた。これらの反省を、今後の改善に活かし、来年度につなげていく。

4. 今後の方向性

複式授業におけるICT 活用の幅の広がり、この2年間の実践の成果である。今後も継続し、さらなる授業改善につなげていく。

来年度は、浜頓別町、中頓別町、猿払村の3町村合同研究大会が実施される。複式部会としても、各町村教研と連携し、複式授業の公開に向けて準備を進めていく。